

幼児教育学科

科目名: 子ども家庭福祉			担当教員 氏名: 清水 剛志			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	1年次	前期	専門科目	講義	必修	保育士資格指定科目(必修)
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:			スクールソーシャルワーカーとして子どもを取り巻く環境に働きかける支援の実践を紹介する。			
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
少子・高齢化社会における児童家庭福祉の意義を考え、児童家庭福祉を支援する社会福祉制度・施策の役割についてその現状と課題ならびに動向と展望について、系統立てて理解する。					子どもの権利擁護 家庭支援 社会情勢 生活保障	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 6. 10	
A 知識・理解力	現代社会の中での子ども家庭福祉の制度が果たす役割について理解を深める。					
B 専門的技術	制度の仕組みや相互の関係性について考察する。					
C 論理的思考力	受講内容について、その課題を客観的に整理し、まとめる力をつける。					
D 問題解決力	福祉従事者を指すものとしての児童理解を深め、倫理観を高める。					
H コミュニケーション力	授業を通して、他の者との意見交換や協調する力を培う。					
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 30 %	レポート: 30 %	発表: %	実技試験: %	その他: 30 %		
特記事項: 評価のその他は、受講態度や出席状況を勘案する。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 別に定めた日時で実施する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 講義内による講評						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
①オリエンテーション、子ども家庭福祉とは何か				【復習】振り返り課題をまとめる	【復習】30分	
②現代社会と子ども、子どもがいる家庭の変容				【復習】振り返り課題をまとめる	【復習】30分	
③子ども家庭福祉の理念、子ども家庭福祉の歴史				【復習】振り返り課題をまとめる	【復習】30分	
④わが国の子ども家庭福祉の展開				【復習】振り返り課題をまとめる	【復習】30分	
⑤諸外国の子ども家庭福祉の状況				【復習】振り返り課題をまとめる	【復習】30分	
⑥子ども家庭福祉の法律、制度				【復習】振り返り課題をまとめる	【復習】30分	
⑦事例検討						
⑧子ども家庭福祉の体制と機関				【復習】振り返り課題をまとめる	【復習】30分	
⑨少子化と地域子育て支援				【復習】振り返り課題をまとめる	【復習】30分	
⑩母子保健と子どもの健全育成				【復習】振り返り課題をまとめる	【復習】30分	
⑪子ども虐待・DV(ドメスティックバイオレンス)とその防止				【復習】振り返り課題をまとめる	【復習】30分	
⑫保育ニーズへの対応				【復習】振り返り課題をまとめる	【復習】30分	
⑬保育・教育・療育・保健・医療等の連携とネットワーク				【復習】振り返り課題をまとめる	【復習】30分	
⑭事例検討				【復習】振り返り課題をまとめる	【復習】30分	
⑮まとめ、子ども家庭福祉の今後の課題						
使用テキスト: 最新 保育士養成講座 第3巻 子ども家庭福祉 出版社:全国社会福祉協議会				その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ):						